

## マンフィールド 8010/8011/8012 ガスケット

	品番	サイズ	必要長さ
フロントドア	3110-057	3/8”(9.5ミリ)LOW・ロープガスケット(やわらかめ)	160 cm
ガラス	3160-080	3/4”(幅19ミリ)・フラットガスケット(粘着テープ付)	150 cm
灰受けドア	3110-059	3/8”(9.5ミリ)MED・ロープガスケット	150 cm
※ガスケットはハースストーン純正品のご使用をお勧めします。			
用意するもの:	ガスケットボンド (ここではインペリアル社のガスケットボンドを使用)		
	はさみ、ドライバー、ワイヤーブラシ、作業用手袋、潤滑スプレー(必要に応じて)		

始める前に : 必ずストーブが冷めた状態で作業してください。

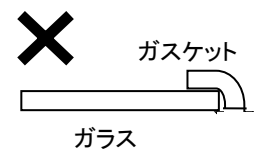
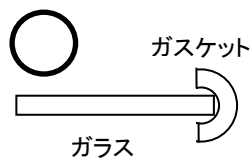
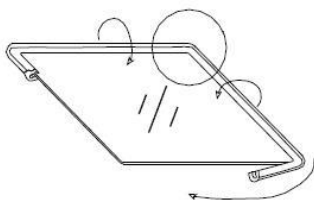
### <フロントドアを外して行う場合>

ドアを開け、そのまま上へ持ち上げるとドアを外すことができます。外す前に、ヒンジピンとワッシャーの位置を確認し、慎重に作業してください。ヒンジピンとワッシャーは元に戻すときのためになくさないようご注意ください。ドアの正面を下にして、テーブルやワークベンチの上に置きます。エナメル塗装の場合には、表面を傷つけないようやわらかい布などを敷いて保護してください。

### ガラス用ガスケット [3/4”(幅19mm):フラットガスケット(粘着テープ付)]

ガラスには片面(表側)にコーティングが施されています。ガラスを外す前にマスキングテープで印を付けるなどして、表と裏を間違えないようご注意ください。

1. ガラスを固定しているフレームを外します。(ネジが錆びついて外れにくい場合は潤滑スプレーを塗布後しばらく置いてから外します)外したネジはなくさないようご注意ください。
2. ドアからガラスを外します。表と裏を間違えないよう印を付けるなどしてください。
3. 古いガスケットを取り除き、新しいガスケット(粘着テープ付)をガラスに取り付けます。剝離紙を少しずつはがしながら、ガラスのふちを均等に包むようにし、余分な分はカットしてください。
4. 表と裏を間違えないようにガラスをドアにセットし、フレームをネジで元通りに固定します。この時、ネジをきつく締めすぎないようにご注意ください。ガラスは熱で膨張しますので、きつく締めすぎるとヒビや破損の原因になります。



**<ご注意>** ガラスの鋳物フレームのサビが原因でガラスが割れることがあります。サビが盛り上がり、ガラスが圧迫されて破損の原因となったようです。ガスケット交換の際には、サビをきれいに落としてください。また、スプレー式の液状ガラスクリーナーをお使いの場合は、吹き付けた液体がたれてドア下部にたまり、サビやガスケット硬化の原因となりますのでご注意ください。

---

## マンスフィールド 8010/8011/8012 ガasket

---

### フロントドア用ガasket [3/8”(9.5mm)LOW・ロープガasket(やわらかめ)] 灰受けドア用ガasket [3/8”(9.5mm)MED・ロープガasket]

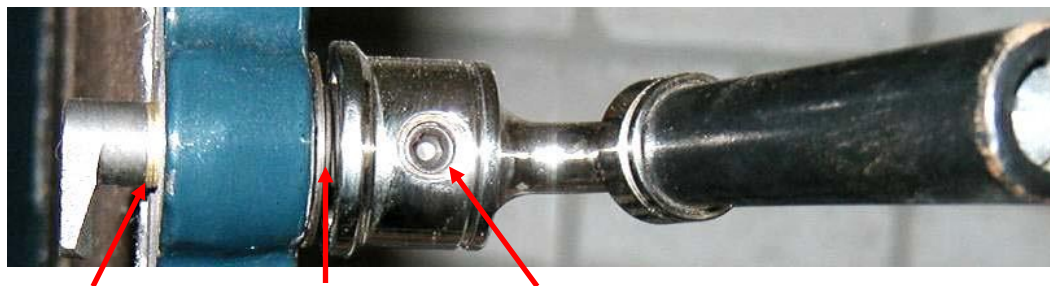
1. 古いガasketを取り除き、溝に残った汚れをワイヤーブラシで落とし、きれいに拭き取ります。
2. 溝にガasketボンドを塗布します。量の目安は溝高の3分の1程度です。ボンドのつけ過ぎにご注意ください。ガasket全体にボンドが浸み込むほどつけてしまうと、ガasketが硬くなり、ドアが閉めにくくなる場合があります。
3. そのまま10～15分ほど置いてボンドの粘着力が増してきたら、ガasketを溝に押し込むように装着していきます。新しいガasketがシール付の場合、ガasketについている紙を少しずつはがしながら、シール面を溝のほうへ装着してください。(ドアの蝶番側の中央から開始するのが一般的です。コーナーから開始するとガasketがはがれやすくなります。)ガasketは引っ張らず縮めず、一周したらガasketが重ならないように、余分な分はカットしてください。
4. フロントドアを外して作業した場合には、ドアを本体に取り付けてください。一人がドアを持ち、もう一人がピンを入れるようにすると楽です。
5. ドアを閉めて固定します。

#### 注意

- ※ 粘着テープ付のガasketロープの場合でも、粘着力の弱いときはガasketボンドで接着することをお勧めします。ガasketについている剥離紙は必ず剥がしてお使いください。
- ※ ボンドのつけ過ぎにご注意ください。ガasket全体にボンドが浸み込むほどつけてしまうと、ガasketが硬くなり、ドアが閉めにくくなる場合があります。
- ※ スプレー式の液状ガラスクリーナーをお使いの場合は、吹き付けた液体がたれてドア下部にたまり、サビやガasket硬化の原因となりますのでご注意ください。
- ※ ガasketを交換後は、ドアが閉まりにくくなる場合があります。なじんでくるまでは、ドアを閉める際にドアをしっかりと押し込んでからハンドルを回すようにしてください。解消されない場合には、ドアラッチの調整が必要となる場合があります。

ラッチの調整 (詳しくはラッチキット技術資料 [90-73112] をご参照ください)

ドアが閉まりにくい場合には、スペーサー(品番:4700-0790)を1枚ずつ追加していくことで調整可能です。



スペーサー(4700-0790)

3ミリほどの隙間

セット・スクリュー